

阿蘇市水道事業

中期経営計画

平成 18 年 3 月

1. 計画策定趣旨

(1) 社会的背景

清浄にして豊富低廉な水の安定供給体制を確立するため、事業の精査を行い、施設整備計画と健全経営化のための事務事業の見直しを図る必要があります。

(2) 事業の現状

施設の維持管理範囲が広く、また、老朽施設の更新時期がきており、予防管理が困難な状況にあります。

(3) 事業の課題

経営面では、平成 17 年度が阿蘇市水道事業の始まりであり、経営努力を重ね、経常利益の確保を目指していきます。

上水道については、渇水期の水不足が懸念されており、将来、一の宮、黒川地区の開発等を考慮すれば、安定供給のための新水源の開発が必要であるとともに、簡易水道も含めて、施設維持管理方式の近代化が急務であり、また、それに伴う投資資金の確保と、使用料金の統一が今後の課題であります。

2. 事業運営の基本方針

(1) 計画の位置付け

中期経営計画は、水道事業の阿蘇市集中改革プランとして、平成 17 年度から 21 年度までの具体的な取り組み目標を設定し、着実に推進するために策定するものであります。

(2) 計画策定の期間

開始年度	平成 17 年度
終了年度	平成 21 年度

(3) 財政運営の目標

上水道事業で 10,000 千円、簡易水道事業で 500 千円以上の純利益の確保を目指します。

(4) 目標とするサービス水準や顧客満足度

電話、インターネットによる各種申込、コンビニエンスストア収納委託を検討し、利用者の利便性を図り併せて収納率の向上を図ります。

(5) 経営基盤強化への取組に係る基本方針

老朽化した設備の改修と管理システムの近代化、アウトソーシングの導入等を積極的に行います。

3. 事業計画

(1) 中期財政収支計画

収益的収入については、大型リゾートの開発等により、給水人口、料金収入とも平成 18 年度並に推移するものと予測されます。また、支出については、平成 20 年度までに主要な施設の改修を行いながらアウトソーシングを拡大してまいります。資本的収入については、改修に必要な資金として、国庫補助金、企業債の借入を予定しております。

支出については、平成 20 年度までに老朽施設の改修と安定供給対策事業を積極的に行います。

① 将来需用予測

平成 21 年度までの給水人口、給水量とも、ほぼ横ばいの状態が予測されます。

	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
給水人口 (人)	26,100	26,100	26,100	26,100	26,100
年間総給水量 (千 m^3)	3,181	3,181	3,181	3,181	3,181
1 日平均給水量 (m^3)	11,300	11,300	11,300	11,300	11,300

② 収益的収支及び資本的収支

(単位：千円)

		17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
収益的 収入	使用料収入	445,500	445,500	445,500	445,500	445,500
	他会計補助金等	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000
	(内基準内繰出)	(20,000)	(20,000)	(20,000)	(20,000)	(20,000)
	(内基準外繰出)	(25,000)	(25,000)	(25,000)	(25,000)	(25,000)
収入合計・・・(A)		490,500	490,500	490,500	490,500	490,500
収益的 支出	人件費	83,000	89,000	89,000	89,000	83,000
	物件費	391,000	391,000	391,000	391,000	393,000
支出合計・・・(B)		474,000	480,000	480,000	480,000	476,000
経常損益 (A)-(B)		16,500	10,500	10,500	10,500	14,500
資本的 収入	企業債	160,800	140,000	100,000	100,000	50,000
	他会計補助金等	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
	(内基準内繰出)	(18,000)	(18,000)	(18,000)	(18,000)	(18,000)
収入合計・・・(A)		202,577	206,000	148,000	118,000	68,000
資本的 支出	建設改良費	254,900	240,000	200,000	100,000	100,000
	企業債償還金等	92,100	142,300	137,000	138,200	138,300
支出合計・・・(B)		347,000	382,300	337,000	238,200	238,300
収入－支出 (A)-(B)		△144,423	△176,300	△189,000	△120,200	△170,300

※ 資本的収入が支出に対して不足する額については、損益勘定留保資金等で補填する。

③ 主要施策

	施策名	実施時期	内 容 (理由)
1	新水源開発調査	平成 18 年 4 月	上水道安定供給のため
2	新水源さく井工事	調査完了後早期	同上
3	送配水施設新設更新事業	平成 18 年 4 月	老朽化対策と安定供給のための予防管理体制の構築
4	波野簡易水道施設整備	平成 18 年 4 月	波野地区安定供給のため(平成 8 年度から継続完了)
5	山田簡易水道施設整備	平成 19 年 4 月	石綿セメント管の布設替及び老朽施設の改修

④ 設備投資計画

(単位：千円)

	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
水源開発関連事業	0	2,000	50,000	0	0
送配水施設新設更新事業	95,000	75,000	50,000	50,000	50,000
老朽管更新事業	110,000	20,000	100,000	5,000	5,000

⑤ 企業債残高

企業債残高については下表のとおりであり、平成 23 年度までの年間償還額が約 200,000 千円とピークを迎えているので、更なる効率的運営を心がけます。

(単位：千円)

	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
元金総額 (全て公的資金)	2,698,924	2,859,800	2,857,700	2,820,700	2,782,600

(2) 中期指標

	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
経常収支比率 (%)	103	102	102	102	102
不良債務比率 (%)	0	0	0	0	0
累積欠損金比率 (%)	0	0	0	0	0
繰入金比率 (%)	10	10	10	10	10
職員一人当り営業収益 (千円)	1,375	769	769	769	1,000
顧客満足度 (%)	70	70	75	80	85

(3) 定員管理に関する計画

阿蘇市定員適正化計画に沿って行います。

(4) 給与の適正化に関する計画

一般会計に準じて行います。

4. 経営基盤強化への取組

(1) 経営改革への取組

積極的な設備投資により、施設全般の近代化を図り、維持管理業務の民間委託を拡大することにより職員の定員を減らしながら、経費削減と収益率の向上を目指します。

(2) 経営効率化への取組

	委 託 内 容	取 組 状 況
民間委託の導入	検針徴収業務	平成 16 年度までに 80%実施済
	水質試験業務	平成 16 年度までに 100%実施済
	高圧受電設備管理業務	同上
	各施設の定期管理業務	平成 16 年度までに 50%実施済。平成 21 年度には 80%まで引き上げる
	設計業務委託	平成 16 年度までに 100%実施済

(3) 人材育成への取組

専門知識、技術を必要とする業務であり、研修会等に積極的に参加し、専門職員として育成してまいります。

5. 経費節減等の取組による効果額

平成 21 年度に、職員 1 名減により 3,000 千円の人件費と施設の改修等により 1,000 千円の動力費の削減を行います。

6. 計画達成状況の公表

(1) 公表時期

	公表時期
中間報告	平成 20 年 5 月
最終報告	平成 22 年 5 月

(2) 公表方法

本庁・支所の掲示板及びインターネットを利用した阿蘇市のホームページ等を利用しながら公表します。